

令和5(2023)年度 下都賀地区小・中・義務教育学校教頭研修会を開催しました

日時 令和5(2023)年5月25日(木)
 会場 壬生城址公園ホール
 対象 下都賀管内各小・中・義務教育学校教頭
 内容 (1) 挨拶

- ・下都賀教育事務所 阿部 信太郎 所長
- ・市町教育委員会連合会教育長部会代表
 壬生町教育委員会 田村 幸一 教育長



(2) 説明 学校支援課から指導面について

下都賀教育事務所学校支援課 指導担当

- ・学校訪問指導について
- ・いじめ・不登校等対策について
- ・とちぎっ子学力アッププロジェクトについて 等



(3) 説明 学校支援課から管理面について

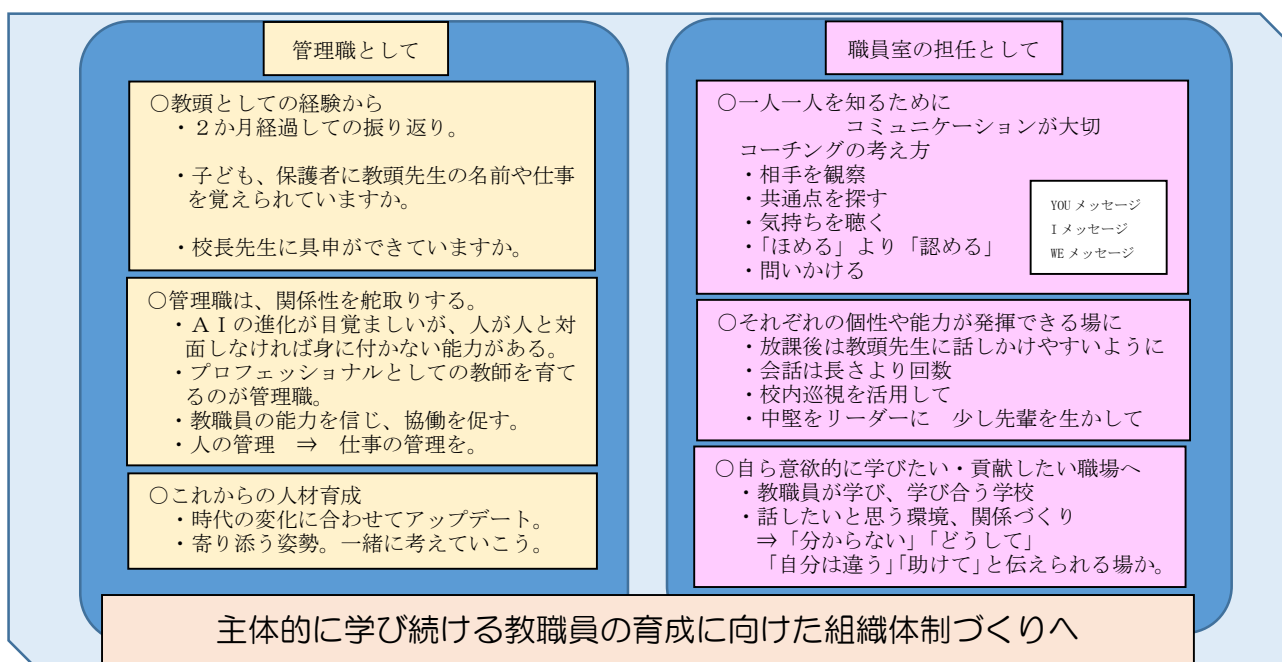
下都賀教育事務所学校支援課 管理担当

- ・実例を実益に
- ・学校事故の報告について
- ・教職員評価について 等



(4) 講話 「主体的に学び続ける教職員の育成に向けた組織体制づくり」

講師 小山市立乙女小学校長 荻原 好恵 先生



参加者の振り返りから

<説明「令和5(2023)年度学校訪問指導について」より>

- ・ 目指す子ども像について先生方が自分の言葉で話せるようになるよう、ビジョンの共有を進めていきたい。
- ・ 「学業指導」の大切さを改めて実感した。若手・中堅・ベテランにも再度確認をしていきたい。
- ・ 子どものたちのPDCAが回るようにカリキュラム・マネジメントを進めていきたい。

<説明「教職員の服務規律の保持」より>

- ・ 不祥事防止に向けて「先生方を守る仕組みを整えること」の重要性を学ぶことができた。
- ・ 業務が重なっている職員に、十分にねぎらいの言葉をかけていたかを振り返ることができた。
- ・ 働きすぎ、働かせすぎを生まないように心掛けていきたい。

<講話「主体的に学び続ける教職員の育成に向けた組織体制づくり」より>

- ・ 目の前のことに精一杯になりがちだが、「職員室の担任」として職員の話や悩みを聴き、ともに考えられるようにしていきたい。
- ・ 管理職は人の管理ではなく、仕事の管理、人と人との関係性の舵取りするということが心に残った。
- ・ 先生と先生をつないでいけるような働き方ができるよう努めたい。
- ・ 各ステージに合わせた戦略的な育成という視点をもって、職員に関わっていきたい。
- ・ 2年目になり職員から頼られていると感じられるようになってきた。コミュニケーションをとって明るい話題があふれる空間を作っていきたい。
- ・ 「一番大変なのは教頭先生です」「校長先生から頼りにされています」というお話で、救われた気持ちになった。
- ・ 子どもに身に付けさせたい力は大人にも必要な力であり、自分自身をアップデートさせていきたい。
- ・ コミュニケーションは長さでなく回数ということから、先生方の細かな変化に気付けるようにしていきたい。
- ・ 「一緒に考え、一緒に解決していく」というスタンスを大切にしていきたい。
- ・ 先生方の人間関係は最終的に子どもたちへ還元されると思う。



<その他>

- ・ 講話や演習を通して他校の教頭先生と話す機会がありよかった。元気の出る研修だった。

